ERGON
BIKE ERGONOMICS

Grip Series

グリップ 取扱説明書

⚠重要事項

適切な取り付けと安全のため、ご使用になる前に必ず本取扱説明書をご覧ください。

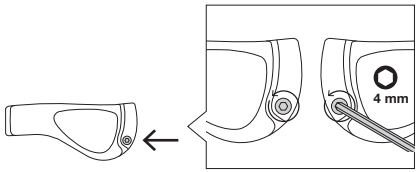
本取扱説明書に従わない不適切な取り付けはグリップ、ハンドルバーもしくは自転車を破損させたり、ケガを負ったりする恐れがあります。エルゴン グリップは自転車専用に設計されています。自転車以外の車両には絶対に取り付けないでください。エルゴン グリップの取り付けは、自転車整備資格を持つ整備士・専門店にご相談ください。いかなる理由があっても、絶対に改造をおこなわないでください。改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保障を受けられません。本取扱説明書は大切に保管してください。

P1 : GP1 取扱説明書
P2 : GP1 バイオレザー 取扱説明書
P3 : GP2 取扱説明書
P4 : GP3 取扱説明書
P5 : GP4 取扱説明書
P6 : GP5 取扱説明書
P7 : GC1 取扱説明書
P8 : GS1 取扱説明書
P9 : GS2 取扱説明書
P10 : GS3 取扱説明書
P11 : GX1 取扱説明書
P12 : GA1 エヴォ 取扱説明書
P13 : GA2 取扱説明書
P14 : GE1 取扱説明書
使用上のご注意

GP1

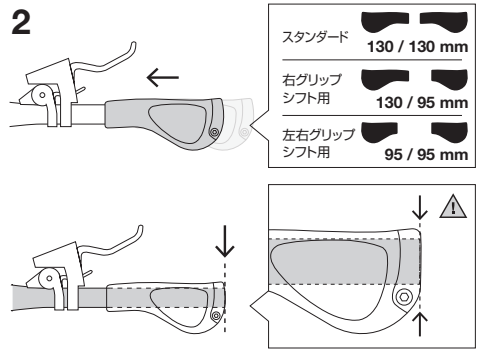
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



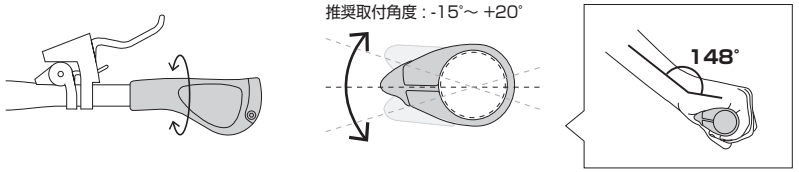
グリップのクランプ ボルトを 4mm 六角レンチを使用して、反時計回りに 3〜4 回転させて緩めます。

2



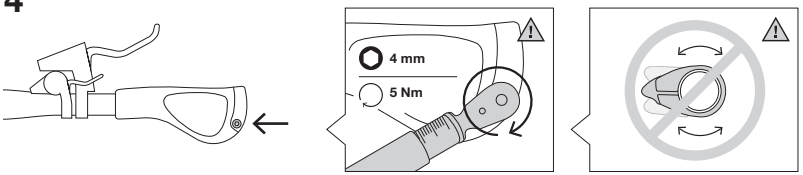
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。グリップの端面とハンドルバーの端面が揃う位置まで完全に差し込んでください。

3



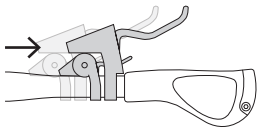
グリップとを手首に負担のかからない自然な角度 (148°) に調整します。

4



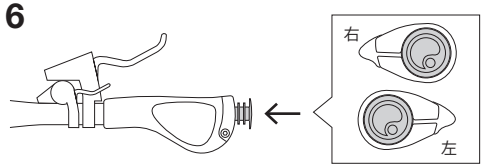
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 5Nm)

5



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

6

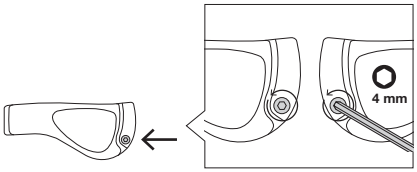


エンドプラグをしっかりと差し込みます。

GP1 BioLeder

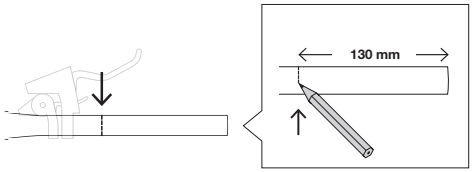
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が 22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。GP1 バイオレザーは天然皮革を使用しています。天然皮革を長保ちさせるために、**P15: クリーニングとメンテナンス (GP1 バイオレザー)** をお読みください。

1



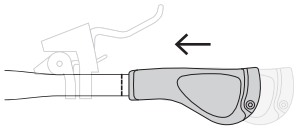
両方のクランプのネジを 4mm 六角レンチを使用し緩めます。

2

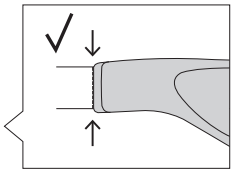


ハンドルバーの端から 130mm の位置に、印を付けます。

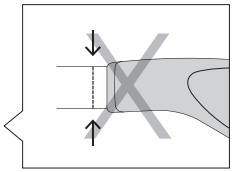
3



印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。



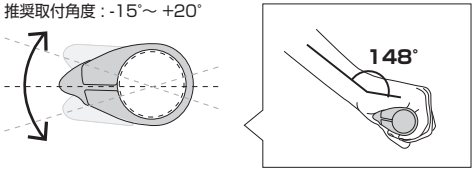
○正しい取付位置



×誤った取付位置

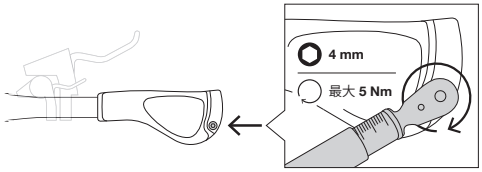
4

推奨取付角度 : -15°~ +20°



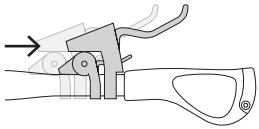
グリップとを手首に負担のかからない自然な角度 (148°) に調整します。

5



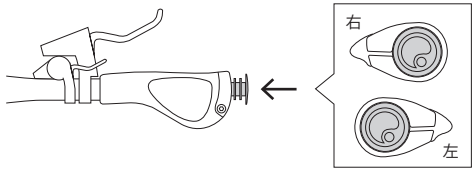
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 5Nm)

6



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

7

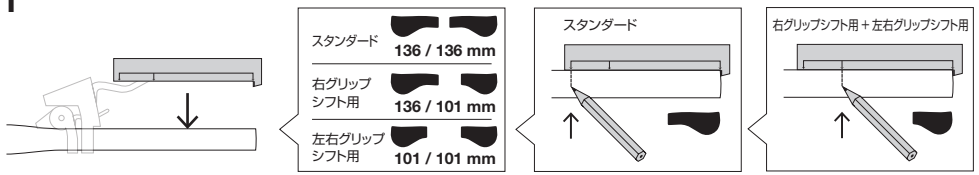


エンドプラグをしっかりと差し込みます。

GP2

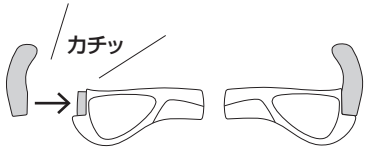
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1

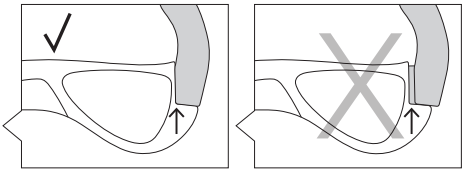


メジャーをバーエンドに固定し、グリップの種類に応じて矢印の箇所に印を付けます。

2

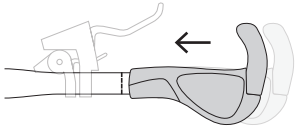


バーエンドを左右それぞれしっかりと差し込みます。

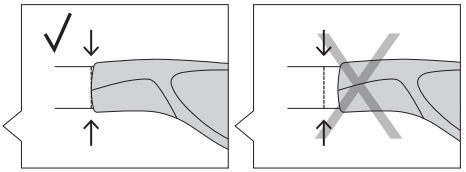


○正しい取付位置　× 誤った取付位置

3

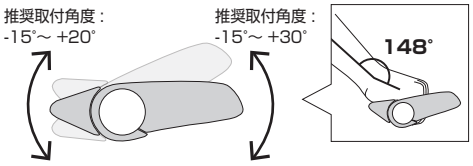


印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。



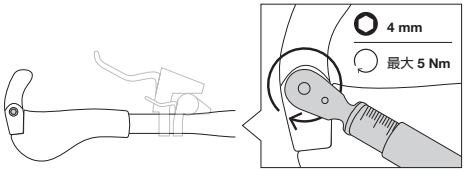
○正しい取付位置　× 誤った取付位置

4



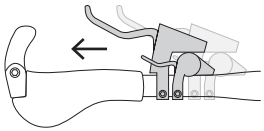
グリップとバーエンドを手首に負担のかからない自然な角度(148°) に調整します。

5



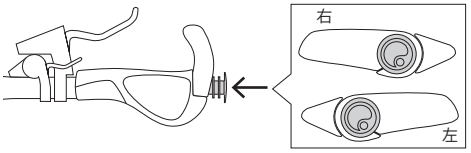
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 5Nm)

6



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

7

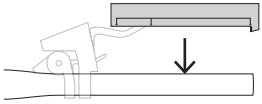


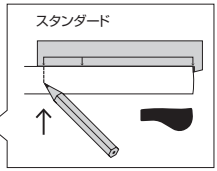
エンドプラグをしっかりと差し込みます。

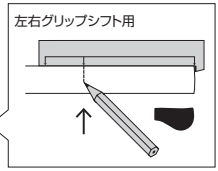
GP3

ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1

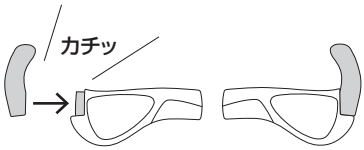




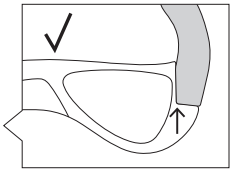


メジャーをバーエンドに固定し、グリップの種類に応じて矢印の箇所に印を付けます。

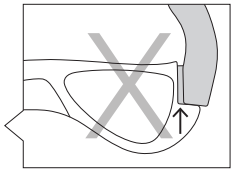
2



バーエンドを左右それぞれしっかりと差し込みます。

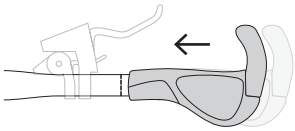


○正しい取付位置

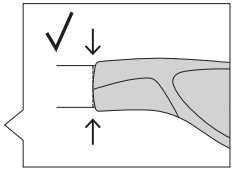


×誤った取付位置

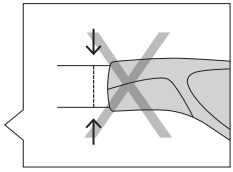
3



印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。



○正しい取付位置

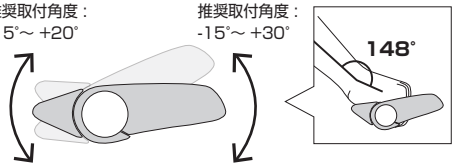


×誤った取付位置

4

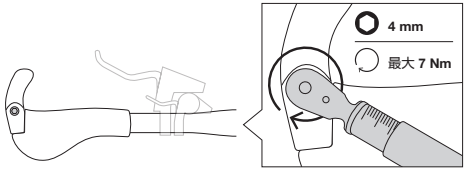
推奨取付角度：
-15°～ +20°

推奨取付角度：
-15°～ +30°



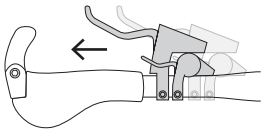
グリップとバーエンドを手首に負担のかからない自然な角度(148°) に調整します。

5



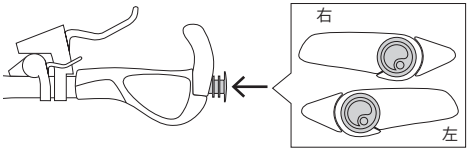
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 7Nm)

6



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

7

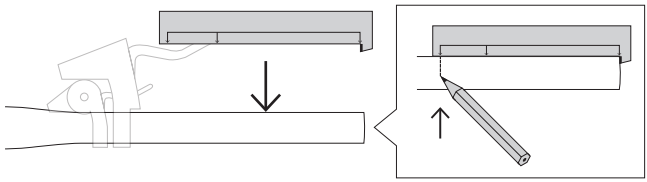


エンドプラグをしっかりと差し込みます。

GP4

ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

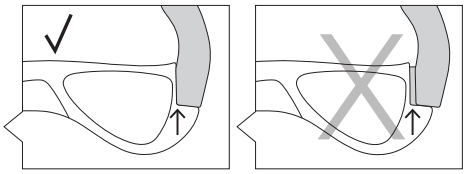
1



メジャーをバーエンドに固定し、矢印の箇所に印を付けます。

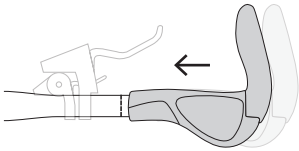
2

バーエンドを左右それぞれしっかりと差し込みます。

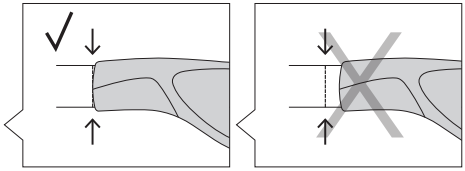


○正しい取付位置　×誤った取付位置

3



印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。

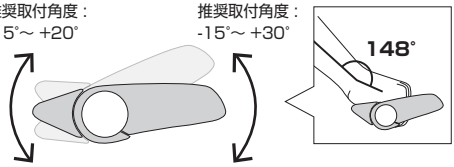


○正しい取付位置　×誤った取付位置

4

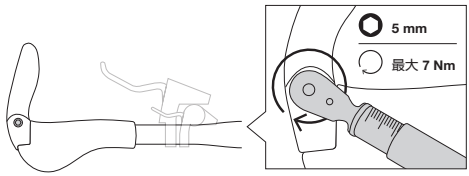
推奨取付角度：
-15°～ +20°

推奨取付角度：
-15°～ +30°



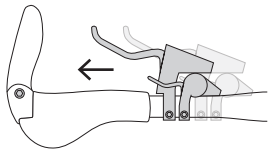
グリップとバーエンドを手首に負担のかからない自然な角度(148°) に調整します。

5



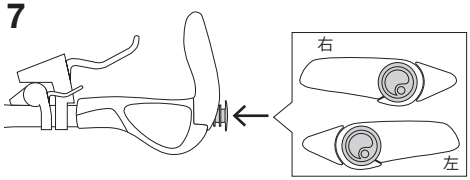
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 7Nm)

6



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

7

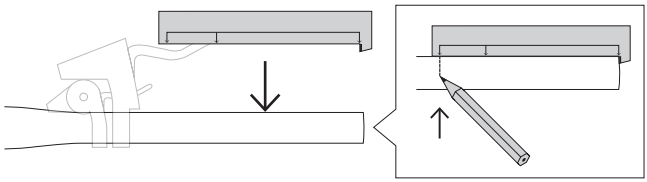


エンドプラグをしっかりと差し込みます。

GP5

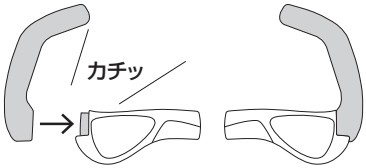
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1

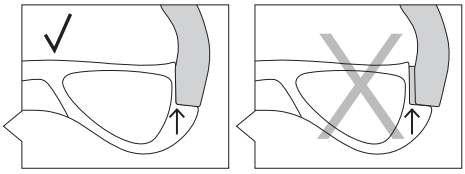


メジャーをバーエンドに固定し、矢印の箇所に印を付けます。

2

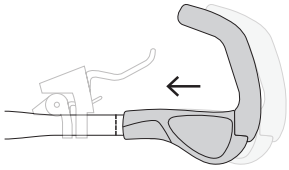


バーエンドを左右それぞれしっかりと差し込みます。

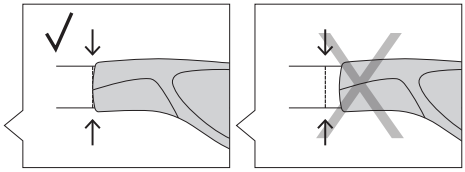


○正しい取付位置　×誤った取付位置

3



印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。

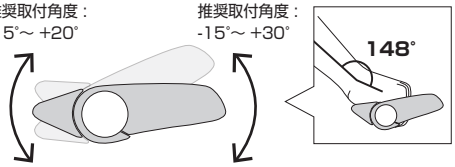


○正しい取付位置　×誤った取付位置

4

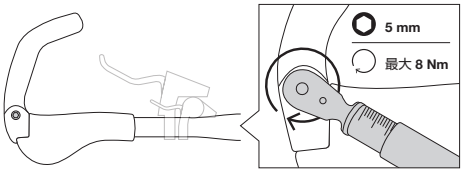
推奨取付角度：
-15°～ +20°

推奨取付角度：
-15°～ +30°



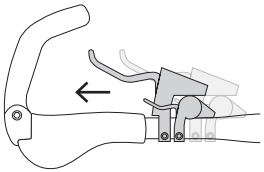
グリップとバーエンドを手首に負担のかからない自然な角度(148°) に調整します。

5



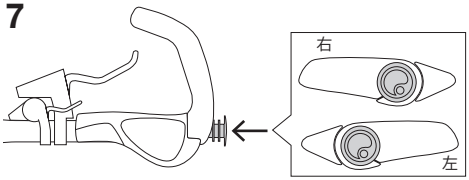
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 8Nm)

6



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

7

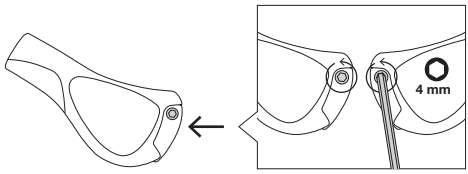


エンドプラグをしっかりと差し込みます。

GC1

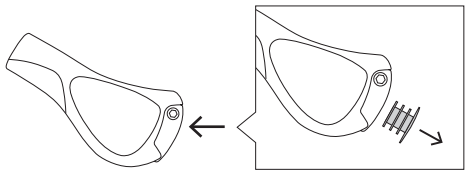
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



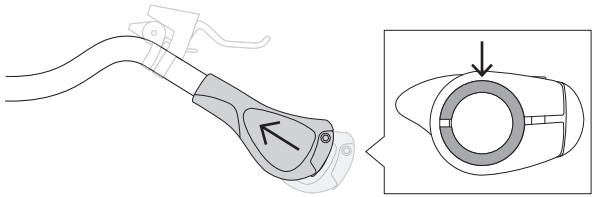
グリップのクランプ ボルトを 4mm 六角レンチを使用して、
反時計回りに 3〜4 回転させて緩めます。

2



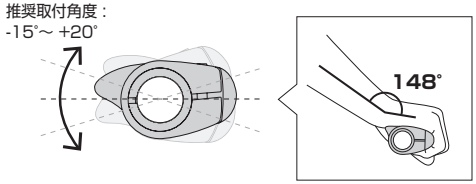
エンドプラグを取り外します。

3



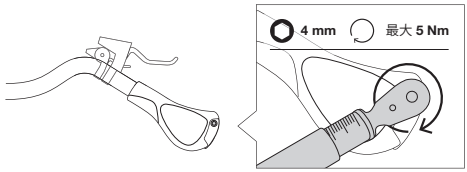
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。
グリップの端面とハンドルバーの端面が揃う位置まで完全に差し込んでください

4



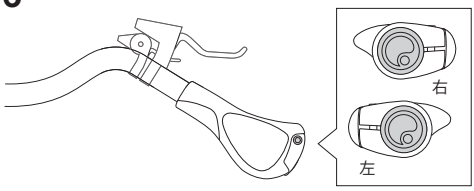
グリップを手首に負担のかからない自然な角度 (148°) に調整します。

5



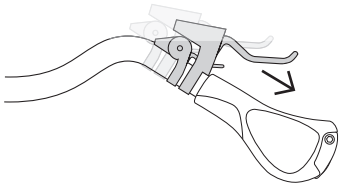
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。(推奨トルク値 : 5Nm)

6



エンドプラグをしっかりと差し込みます。

7

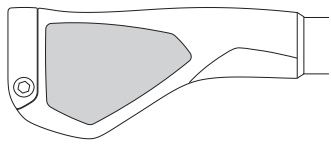


シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

GS1

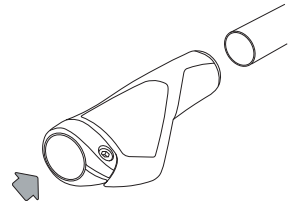
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



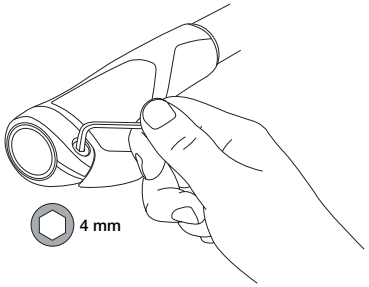
グリップの左右を確認します。グリップのクランプ ボルトを 4mm 六角レンチを使用して、反時計回りに 3〜4 回転させて緩めます。

2



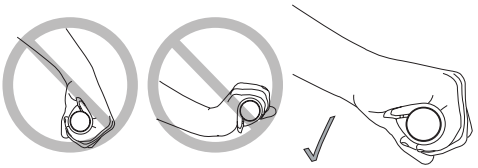
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。グリップの端面とハンドルバーの端面が揃う位置まで完全に差し込んでください。

3



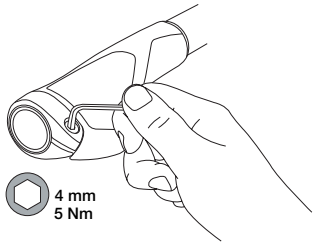
クランプを仮留めします。

4



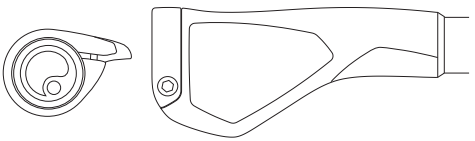
手首に負担のかからない自然な角度にグリップをとバーエンドの角度を調整します。

5



トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。
(推奨トルク値：5Nm)

6

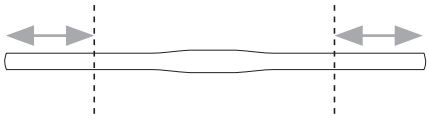


グリップが正しく装着されている事を確認し、エンドプラグを挿入します。

GS2

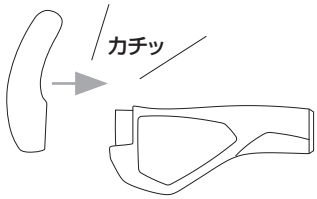
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



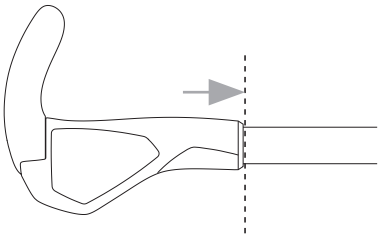
ハンドルバーの端から 135mm の位置に印を付けます。

2



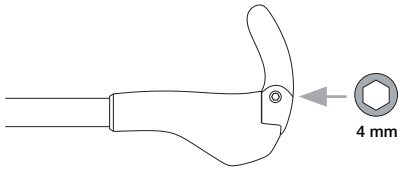
バーエンドのクランプのボルトを緩め、バーエンドを左右それぞれしっかりと差し込みます。

3



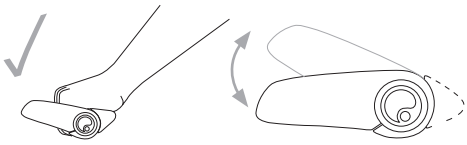
印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。

4



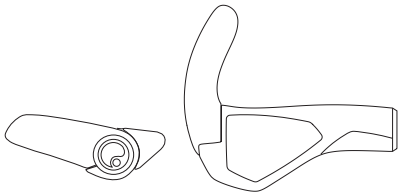
バーエンドの角度が調整できるようにクランプを仮留めします。

5



手首に負担のかからない自然な角度にグリップをとバーエンドの角度を調整します。

6

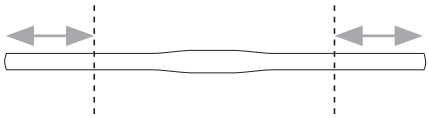


クランプを本締めし (推奨トルク : 7Nm)、グリップが正しく装着されている事を確認し、エンドプラグを挿入します。

GS3

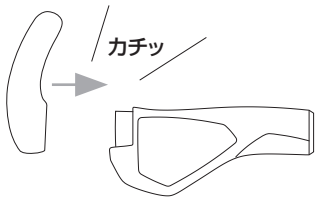
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



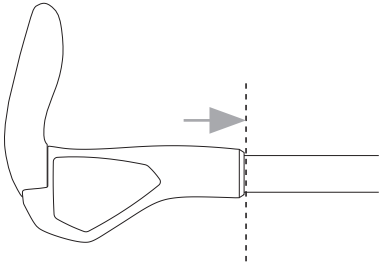
ハンドルバーの端から 140mm の位置に印を付けます。

2



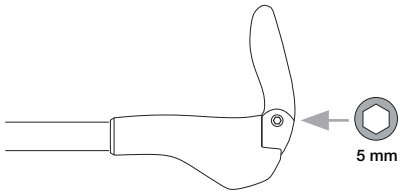
バーエンドのクランプのボルトを緩め、バーエンドを左右それぞれしっかりと差し込みます。

3



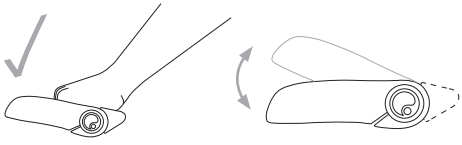
印を付けた部分までグリップをしっかりと差し込みます。

4



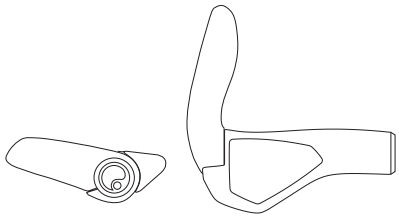
バーエンドの角度が調整できるようにクランプを仮留めします。

5



手首に負担のかからない自然な角度にグリップをとバーエンドの角度を調整します。

6

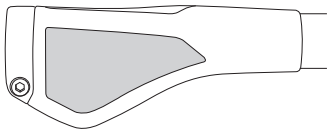


クランプを本締めし (推奨トルク : 7Nm)、グリップが正しく装着されている事を確認し、エンドプラグを挿入します。

GX1

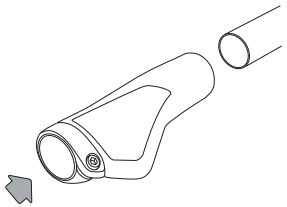
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



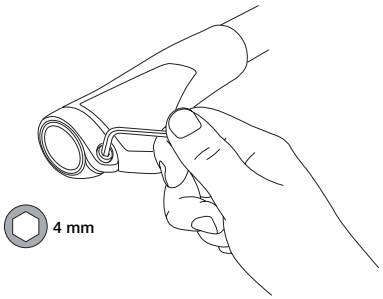
グリップの左右を確認します。

2



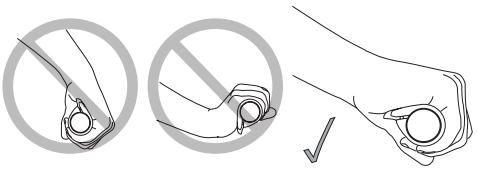
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。グリップの端面とハンドルバーの端面が揃う位置まで完全に差し込んでください。

3



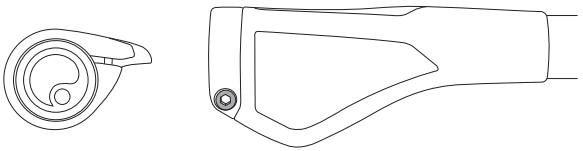
クランプを仮留めします。

4



手首に負担のかからない自然な角度にグリップをとバーエンドの角度を調整し、クランプを本締めします。(推奨トルク：5Nm)

5

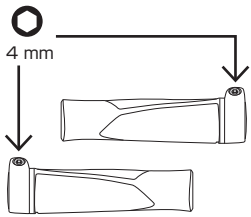


グリップが正しく装着されている事を確認し、エンドプラグを挿入します。

GA1 Evo

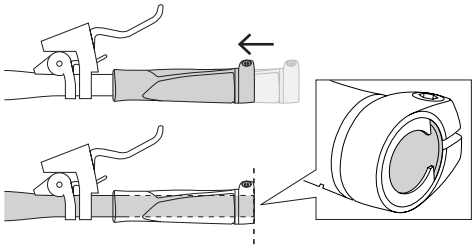
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が 22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



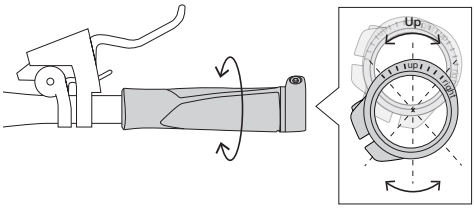
グリップの左右を確認します。グリップのクランプ ボルトを 4mm 六角レンチを使用して、反時計回りに 3〜4 回転させて緩めます。

2



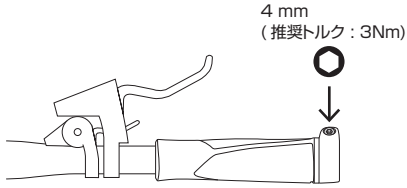
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。グリップが止まるまで完全に差し込んでください。

3



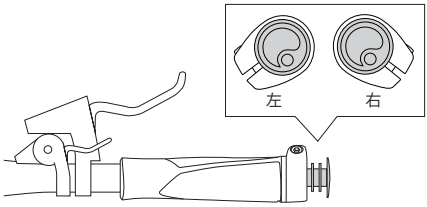
クランプ側面の UP マークがハンドルバーの直上に
なる角度を 基準に、好みの角度にグリップを調整します。

4



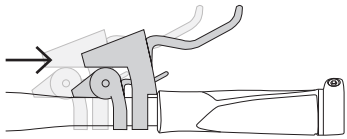
トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。
(推奨トルク値 : 3Nm)

5



グリップが正しく装着されている事を確認し、エンドプラグを挿入します。

6

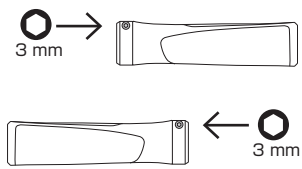


シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

GA2

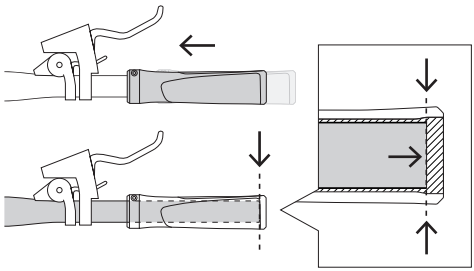
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



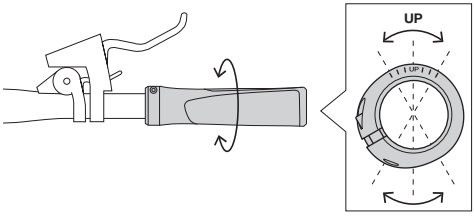
グリップの左右を確認します。グリップのクランプ ボルトを 3mm 六角レンチを使用して、反時計回りに 3〜4 回転させて緩めます。

2



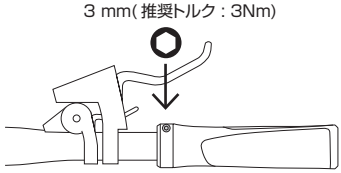
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。グリップが止まるまで完全に差し込んでください。

3



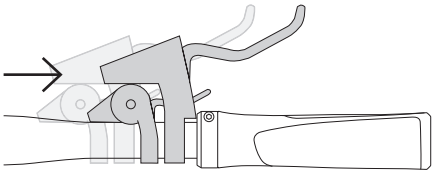
クランプ側面の UP マークがハンドルバーの直上に
なる角度を 基準に、好みの角度にグリップを調整します。

4



トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。
(推奨トルク値 : 3Nm)

5

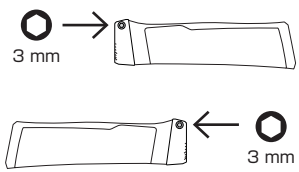


シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

GE1

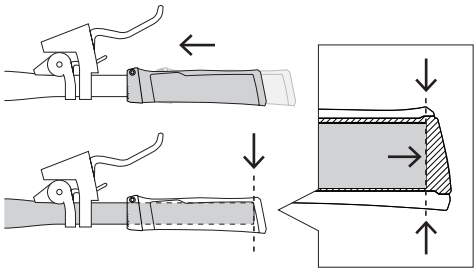
ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みになり、適切な手順で取り付けてください。ハンドルバーの直径が22.2mm であること、グリップの取り付けに十分な幅が確保されていること、クランプの圧力に耐えられるハンドルバーであることを確認してください。取り付ける前に、ハンドルバーをアルコール、または脱脂洗浄剤で洗浄してください。

1



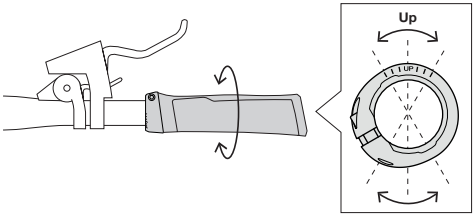
グリップの左右を確認します。グリップのクランプ ボルトを 3mm 六角レンチを使用して、反時計回りに 3〜4 回転させて緩めます。

2



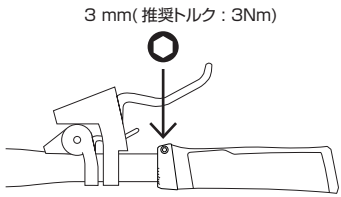
シフター、ブレーキレバーのクランプボルトを緩めてハンドルバー内側に寄せ、グリップを差し込みます。グリップが止まるまで完全に差し込んでください。

3



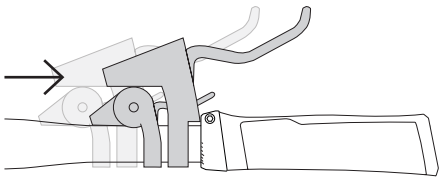
クランプ側面の UP マークがハンドルバーの直上に
なる角度を 基準に、好みの角度にグリップを調整します。

4



トルクレンチを使用してクランプボルトを締めます。
(推奨トルク値 : 3Nm)

5



シフター、ブレーキレバーを適切な位置に移動し、クランプボルトを締めて固定します。

フィッティングのコツ
エルゴンのグリップはユーザー個々のポジションや乗車姿勢に合った角度調整によって、手の血液循環を改善し、手の痛みを予防するなどの効果を発揮します。
テストライドと調整を繰り返して、あなたにとって最適な角度を探してください。最適な角度は左右で異なる事があります。
手の痛みや痺れが取れない場合、専門店に自転車全体のフィッティングを含めて相談される事を推奨します。

注意：
自転車に乗る前に、グリップが適切に締められていることを確認してください。ハンドルバーは直径 22.2mm の業界標準を満たしているものを使用してください。推奨トルク以上の力でクランプを締めないでください。必要に応じて交換し、ご質問がありましたら販売店にご相談ください。

クリーニングとメンテナンス (GP1 バイオレザー以外)：
50km の乗車ごとにトルクを確認し、推奨トルクを維持してください。
グリップを常に最良の状態に保つため使用後は毎回クリーニングし、乾かしてください。クリーニングにはぬるま湯と柔らかいスポンジを使用してください。グリップに石油ベースの製品や溶剤、油やグリスを使用しないでください。

クリーニングとメンテナンス (GP1 バイオレザー)：
50km の乗車ごとにトルクを確認し、推奨トルクを維持してください。
GP1 バイオレザーは天然皮革を使用しています。天然皮革を長保ちさせるために、以下の点に注意してください。
年に 2〜3 回、湿らせたマイクロファイバータオルを使用して付属のオイルを 1〜2 滴ほどグリップ全体に塗布し、乾燥後に乾いた布で拭いてください。天然皮革は、油や汗の付着によって黒ずんだり、直射日光によって退色したりする事があります。カビの発生を抑えるため、湿度の高い場所に保管しないでください。グリップが直射日光や高熱に長時間さらされると、ひび割れる可能性があります。

保 障 期 間：
ご購入日から 2 年間：製造上の欠陥による機械部品の不良が対象です。
保障を受けるには、ご購入日の日付の入った領収書が必要です。領収書なしで保障を受ける場合の保障期間は製造年月日から起算させていただきます。お客様の事故などによる外的要因、誤使用、改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保障を受けられません。故障した製品は故障状況を明記して、お買上げの販売店へお持ちください。お送りになる場合の送料はお客様にてご負担をお願いします。

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-1　エルゴン 総輸入発売元　株式会社 マルイ